

令和 5 年度 指定管理者点検結果

施 設 名	都市公園及び深山センターハウス
所 在 地	市内一円
指 定 管 理 者	名 称 公益財団法人 玉野市公園緑化協会 代表者 理事長 市倉 勇樹 住 所 玉野市田井 2 丁目 4 4 9 0 番地
指 定 期 間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日 (3 年間)
担 当 部 課	建設部 都市計画課 電 話 0863-32-5538 E-mail toshikeikaku@city.tamano.lg.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
・都市公園及び深山センターハウスの管理に関する基本協定書、仕様書の規定に基づき、指定管理業務の点検を行った。 ・指定管理者制度の目的である利用者へのサービス向上を図る一方で、経費の節減にも努めていた。 ・利用者が安心して親しみをもって利用できる公園の管理運営を行うため、職員の専門性等、資質の向上が図られていた。インスタグラムを活用し、フォトコンテストや深山公園の季節の見頃の草花の紹介や各種イベント等の広報を通じて、深山公園の魅力向上に努めた。 ・深山公園をはじめ、市内 1 4 7 箇所の公園緑地に対する市民ニーズに的確に対応するため、地元コミュニティを含めた連携が図られていることを確認した。 ・深山センターハウスの管理においては、常に、利用者が安全快適に利用できるよう清掃及び施設・設備の保守点検に努めていた。 ・新型コロナウイルス感染症が収束したことにより、深山さくらまつりやイギリス庭園とパン工房のローズフェアなどのイベントを予定通り開催することができた。	A

■「総合評価」の評価基準

- S（優 良） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A（良 好） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B（課題含） 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C（要改善） 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 ・市内の公園施設は、幅広い年代の不特定多数が利用することから常に誰もが安心して利用できるよう徹底した施設の維持管理が行われていた。 ・地元コミュニティ等と連携し公園の安全性の確保に努めていた。 【法令等の遵守】 ・施設の管理運営、職員の労務管理等、関係法令に基づき業務全般を実施していた。 【安全性の確保】 ・公園施設の定期的な点検・監視により整備不良箇所の早期発見と修繕に努めていた。 【財産の適切な管理】 ・基本財産(資本金)については、確実かつ有利な方法で保管されていた。 【利用状況】 ・深山公園の入園者については、新型コロナウイルス感染症が収束したことにより、通常通りの運営が行うことができた。深山まつりやイギリス庭園とパン工房のローズフェアなどのイベントを開催や、Instagramによる公園の魅力発信により、多くの来園者が訪れた。 ・深山公園内の有料施設であるイギリス庭園、パターゴルフ、ドッグラン、研修室等については、夏場の猛暑により来園者が少ない時期があったものの、おおむね前年並みであった。 【コスト削減への方策】 ・施設管理に当たっては、技術経験者の活用を図り、直営作業と業者委託、さらにボランティアの活用などにより、効率的な業務の推進と経費の節減に努めている。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
・Instagram等を利用して、利用者に対して公園の魅力を最大限に PR するとともに、公園の美化や安全確保を図り、憩いと安らぎを求める利用者が安全・安心して利用できるよう、質の高いサービス提供に努めていた。	A
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
・令和 5 年度決算では、電気料が国の激変緩和対策の補助金制度の変更により想定していたよりも抑えることができ、4,147,666 円が市に返納された。公益財団法人の基本理念に則り、良好な経営状態となっていることを確認した。	A

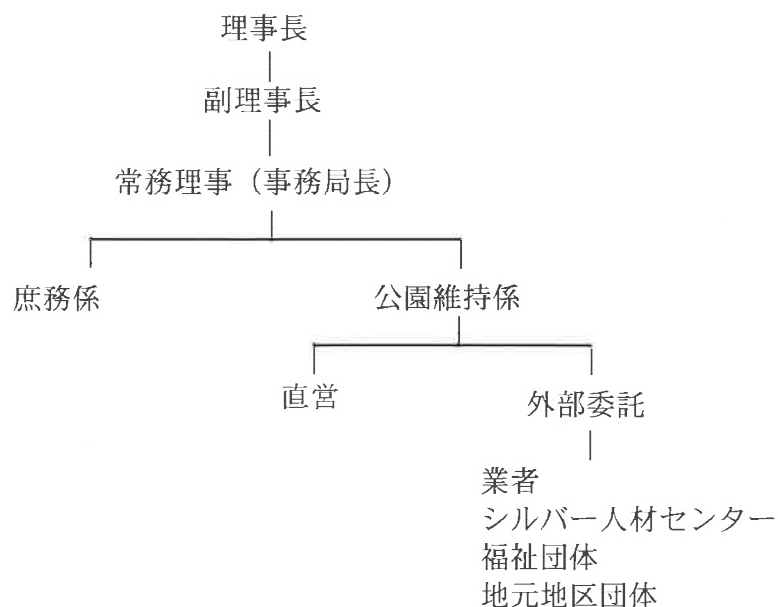
■ 「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

I 業務の実施状況に関する事項

1 管理体制の状況

(1) 指定管理業務の実施体制図（外部委託先を含む）



(2) 人員配置状況

（令和6年3月31日現在）

	職 名	人 数	備 考
事 務 局	事務局長	1 名	常務理事兼務
	事務局次長	1 名	庶務係長兼公園維持係長
	技術職員	2 名	公園維持係
	嘱託職員（事務員）	2 名	庶務係
施設管理	臨時職員（作業員）	9 名	公園維持
	時間雇用（事務員）	2 名	イギリス庭園受付
	時間雇用（事務員）	3 名	ミニパター・ドッグラン受付
計		20 名	

2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

① みやま公園及び市内公園緑地の維持管理業務

民間業者、シルバー等に年間の維持管理を委託するとともに、遊具等の保守点検を定期的に実施した。遊具点検では、点検項目が多く高度技術を有する遊具を日本公園施設業協会（JPF A）認定の公園施設製品安全管理士資格者による点検を業者委託し、その他、構造的に複雑ではない遊具については、協会で実施した。

② 清掃業務

民間業者に委託し、日常清掃として便所及びロビーを年５３回、定期清掃として事務所・研修室等のガラス清掃及び床面のワックス塗布等を年２～３回実施した。

③ 警備業務

民間業者に夜間警備を委託し、施設・設備の保安管理を実施した。

④ 自家用電気工作物保安管理業務

中国電気保安協会に保安管理を委託し、自家用電気工作物の保守点検を年６回実施した。

⑤ 自動扉保守管理

民間業者に保守管理を委託し、自動扉の保守点検を年３回実施した。

Ⅱ 施設の利用状況に関する事項

１ 施設・設備の利用状況

施設名	利用者数（人）
みやま公園	1,708,418
深山イギリス庭園	15,376
ミニパターゴルフ場	7,717
研修室	2,636
会議室	37

Ⅲ 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

１ イベント名、内容、参加者数、収支状況等

イベント名	参加者数（人）	開催日
深山さくらまつり	95,200	令和５年３月２５日～４月９日
園芸教室 ハンギング 苔玉作り 寄せ植え作り クリスマスリース作り	3	令和５年４月１５日
	8	令和５年１０月２９日
	15	令和５年１１月５日
	28	令和５年１２月１０日
葉草教室	100	令和５年４月２９日
深山イギリス庭園とパン工房 のローズフェア（春・秋）	598	令和５年５月２０日
	150	令和５年１０月１５日
深山イギリス庭園 ののちゃんクイズラリー	176	令和５年７月１５日～８月３１日
Face and English Garden	276	令和５年１０月２１日
イギリスフェア	0	中止
岡山県立興陽高等学校制作展	583	令和５年１０月７日
山陽新聞カルチャープラザ 「基礎から学ぶバラ講座」	8期生 115	令和４年１２月～令和６年２月 （全６回）終了
	おさらい 73	令和５年５月～令和６年２月 （全４回）終了
	9期生 37	令和５年１２月～令和７年２月 （全６回）開催中（３月末現在）
ボトルアレンジメント フラワー講座（年１１回）	33	令和５年４月～令和６年３月

Ⅳ 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1 利用料金の収入及び減免の状況

(1) 利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額等

施 設 名	収 入 額 (円)
深山イギリス庭園	2, 0 7 1, 8 0 0
ミニパターゴルフ場	2, 6 9 1, 0 0 0
研 修 室	3 0 8, 0 0 0
合 計	5, 0 7 0, 8 0 0

(2) 減免の総額、各施設、設備ごとの内訳、減免理由等

施 設 名	減免総額 (円)	減免理由等
深山イギリス庭園	1 0, 0 0 0	緑化協会 (フォトコン)
ミニパターゴルフ場	4 7, 0 0 0	玉野高校 (3回)、おおさき子ども楽級
減 免 総 額 合 計	5 7, 0 0 0	

2 管理に係る収支の状況

(1) 収入

項 目	金 額 (円)	備 考
利 用 料 収 入	4, 6 1 9, 3 0 0	ドッグラン、レンタサイクル
指定管理料収入	1 1 2, 2 8 1, 3 3 4	公園管理事業収入
そ の 他 収 入	2, 8 9 7, 0 4 7	自動販売機等
収 入 合 計	1 1 9, 7 9 7, 6 8 1	

(2) 支出

項 目	金 額 (円)	備 考
人 件 費	5 5, 0 6 7, 8 2 0	給料、賃金等
光 熱 水 費	1 1, 4 2 7, 4 7 2	電気、水道等
委 託 費	3 8, 3 2 1, 2 8 5	公園・便所管理等
事 務 費	2, 1 0 8, 3 8 7	消耗品、消耗什器備品費、通信運搬費等
原 材 料 費	7 3 2, 7 6 0	花苗・真砂土等
修 繕 費	2, 0 0 7, 8 0 6	公園施設修繕等
保 険 料	7 5 2, 4 3 1	指定管理者賠償責任保険料等
租 税 公 課	5, 7 0 2, 9 6 0	消費税、自動車税等
そ の 他	1, 9 3 0, 1 6 2	賃借料、手数料等
支 出 合 計	1 1 8, 0 5 1, 0 8 3	

V 自己点検結果

都市公園及び深山センターハウスの管理に関する基本協定書、仕様書の規定に基づき、指定管理業務を行った。

みやま公園をはじめ、市内147箇所の公園緑地の管理にあっては、常に公園緑地の美化、安全確保に努めるとともに質の高いサービスの提供を目指し各公園・緑地を巡回するなど、来園者が心地よく安心して利用できるよう維持管理を徹底した。また、深山センターハウスの管理においても、常に利用者が安全快適に利用できるよう清掃及び施設・設備の保守点検に努めた。年間を通じて市民ニーズへの的確な対応とみやま公園の魅力向上に向け、市はもとより、地元コミュニティ、道の駅みやま、市内事業者、マスコミ各社等々関係機関との連携を図りながら業務遂行に努めた。

みやま公園の利用状況は、令和5年度の利用者数170万8,418人、前年度比3万1,036人の減となっている。要因としては、大型連休が明けた5月8日に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行したことによる行楽の選択肢の広がりや夏の猛暑が要因と推測されるが、多くの来園者が訪れた。令和4年度開設の公式インスタグラムを活用した「みやまフォトコンテスト2023」は、みやま公園及び深山イギリス庭園の魅力を広く発信することを目的に、令和5年4月から同年11月までの期間フォトコンテストを実施した結果、350点の応募があった。今後もみやま公園の四季を写真や動画とコメントで紹介するなど、公園の魅力の発信に努める。

総括としてこれらの実績も踏まえ、令和5年度の指定管理業務については概ね十分な成果をあげることができたものと考えており、引き続き事案毎の速やかな対応に努めるとともに公園利用者のニーズの把握を進め快適で安全安心な公園・緑地の維持管理を図るものとする。

VI 経費節減・サービス向上に関する取組み

2022年から電気料の高騰が続いていたが、本年度に於いては、想定外の電気料安定や国による電気・都市ガス料金への補助金制度「電気・ガス価格激変緩和対策事業」や節電等の取組みにより、電気料支出が抑えられたことから市に414万7,666円返納することができた。

公園・緑地の管理手法では、事案に応じて直営作業と業者委託、ボランティアと地元自治会等、業務の効率的な振り分けを行い管理経費の削減に努める一方、協会が運営する便益事業として、レンタサイクル事業、ドッグラン事業や自動販売機設置事業等を行い、年間で約730万円の自主財源を確保し全額を運営経費に充当した。

また、市内公園緑地の美化、安全確保に努めることはもとより、職員一丸となり、年間を通じてサービスの向上に取り組み、憩いと安らぎを求める市民が安心安全かつ気軽に公園を利用できるよう快適で質の高いサービスの提供に努めた。

令和 5 年度 指定管理者自己点検結果

点 検 日	令和 6 年 6 月 1 日 (1 回目)
施 設 名	都市公園及び深山センターハウス
所 在 地	市内一円
指 定 管 理 者	名 称 公益財団法人玉野市公園緑化協会 代表者 理事長 市倉 勇樹 住 所 玉野市田井 2 丁目 4 4 9 0 番地
指 定 期 間	令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 3 1 日 (3 年間)
担 当	公益財団法人玉野市公園緑化協会 電 話 0 8 6 3 - 2 1 - 2 8 6 0 E-mail m i y a m a @ t a m a n o . o r . j p

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
都市公園及び深山センターハウスの管理に関する基本協定書、仕様書の規定に基づき、指定管理業務を行った。 みやま公園をはじめ、市内 1 4 7 箇所の公園緑地の管理にあつては、常に公園緑地の美化、安全確保に努めるとともに質の高いサービスの提供を目指し各公園・緑地を巡回するなど、来園者が心地よく安心して利用できるよう維持管理を徹底した。また、深山センターハウスの管理においても、常に利用者が安全快適に利用できるよう清掃及び施設・設備の保守点検に努めた。年間を通じて市民ニーズへの的確な対応とみやま公園の魅力向上に向け、市はもとより、地元コミュニティ、道の駅みやま、市内事業者、マスコミ各社等々関係機関との連携を図りながら業務遂行に努めた。 令和 4 年度開設の公式インスタグラムを活用した「みやまフォトコンテスト 2 0 2 3」は、みやま公園及び深山イギリス庭園の魅力を広く発信することを目的に、令和 5 年 4 月から同年 1 1 月までの期間フォトコンテストを実施した結果、3 5 0 点の応募があった。今後もみやま公園の四季を写真や動画とコメントで紹介するなど、公園の魅力の発信に努める。 総括としてこれらの実績も踏まえ、令和 5 年度の指定管理業務については概ね十分な成果をあげることができたものと考えており、引き続き事案毎の速やかな対応に努めるとともに公園利用者のニーズの把握を進め快適で安全安心な公園・緑地の維持管理を図るものとする。	A

■「総合評価」の評価基準

- S（優良） 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。
- A（良好） 次の3項目の評価結果が全てA以上である。
- B（課題含） 次の3項目の評価結果にBが含まれている。
- C（要改善） 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
【適切な施設管理の履行】 基本協定書・仕様書に基づくみやま公園及び市内147箇所の公園緑地の管理に当たり、来園者が安心して利用できるよう維持管理を徹底し、年間を通じて公園緑地の美化、安全確保に努めるとともに、質の高いサービスの提供を目指し、職員による巡回や委託先の業者や地区コミュニティ等関係先と連携を図りながら利用者のニーズの把握に努め、公園緑地の利便性の向上に努めた。 深山センターハウスの管理では、清掃及び施設・設備の保守点検を徹底し、利用者が年間を通じて安全快適に利用できるよう努めた。 【法令等の遵守】 運営・労務・個人情報保護等に関する関係法令はもとより、事業の関連法令である都市公園法や玉野市都市公園条例等を遵守し業務を遂行した。 【安全性の確保】 来園者の安全安心を図るため、遊具、歩道等を定期的に点検・巡視を行い、不良箇所にあっては速やかに修理を実施した。民間業者、シルバー等に年間の維持管理を委託するとともに、遊具点検では、点検項目が多く高度技術を有する遊具を日本公園施設業協会（JPF A）認定の公園施設製品安全管理士資格者による点検を業者委託し、その他、構造的に複雑ではない遊具については、協会で実施した。 【財産の適切な管理】 施設の維持管理及び備品の管理にあっては、適切な管理を行っており、良好な状態である。 【利用状況】 みやま公園の利用状況は、令和5年度の利用者数170万8,418人、前年度比3万1,036人の減となっている。要因としては、大型連休が明けた5月8日に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行したことによる行楽の選択肢の広がりや夏の猛暑が要因と推測されるが、多くの来園者が訪れた。	A

【コスト削減への方策】 ２０２２年から電気料の高騰が続いていたが、本年度に於いては、想定外の電気料安定や国による電気・都市ガス料金への補助金制度「電気・ガス価格激変緩和対策事業」や節電等の取組みにより、電気料支出が抑えられたことから市に４１４万７，６６６円返納することができた。	
② サービス向上への取り組み	評価結果
市内公園緑地の美化、安全確保に努めることはもとより、職員一丸となり、年間を通じてサービスの向上に取り組み、憩いと安らぎを求める市民が安心安全かつ気軽に公園を利用できるよう快適で質の高いサービスの提供に努めた。	A
③ 団体の経営状態（経営の健全性）	評価結果
公益財団法人の基本理念に基づく県の指導に従いながら運営の便益事業収入総額を運営経費に充当するなど堅実かつ計画的で健全な状態にある。	A

■「評価結果」の評価基準

- S（優良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。